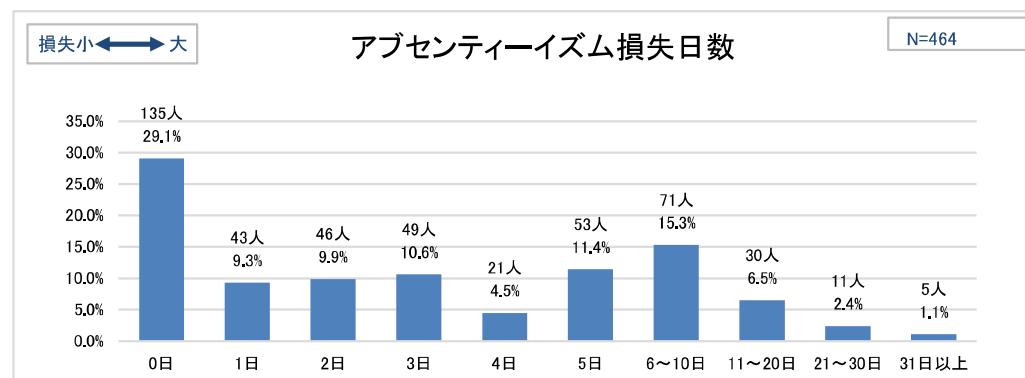


■アブセンティーイズム:

病気・けがに伴う欠勤による損失

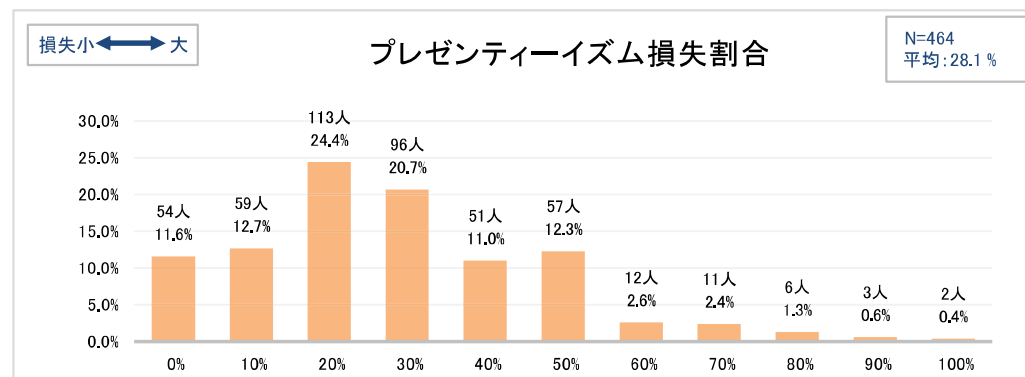
「昨年1年間に、自分の病気やけがなどの体調不良で何日仕事を休みましたか？」に対して0～365日を10件法にて回答したものを評価した。アブセンティーイズムを自己申告してもらう方法である。
病気やけがを原因とした欠勤日数(単位: 日)を「アブセンティーイズム」として、記載する。アブセンティーイズムへの対策を検討するための参考指標とする。



■プレゼンティーイズム:

何らかの疾患や症状を抱えながら出勤し、業務遂行能力が低下した状態による損失

「病気やけががないときに発揮できる仕事の出来を100%として過去4週間の自身の仕事を評価してください。(1～100%)」(東大1項目版)を11件法にて回答した割合を、100%値から差し引いた割合により評価した。
何らかの疾患や症状を抱えながら出勤したことによる労働生産性の損失割合(単位: %)を「プレゼンティーイズム」として、記載する。
※出典: 東大1項目版プレゼンティーイズム(東京大学政策ビジョン研究センター健康経営研究ユニット作成)



■主観的健康感:

健康リスク項目のうち「生物学的リスク」の一部として問われている主観的健康感

「あなたの現在の健康状態はいかがですか」に対して、「よい」=5点、「まあよい」=4点、「ふつう」=3点、「あまりよくない」=2点、「よくない」=1点、の5件法にて回答したものを評価した。

